

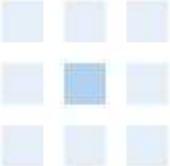
NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2018
クラウド利活用のためのクラウドゲートウェイ
ユーザミーティング

東京農工大学における クラウドゲートウェイサービス

2018年6月21日

東京農工大学 総合情報メディアセンター
瀬川 大勝





NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2018
クラウド利活用のためのクラウドゲートウェイ
ユーザミーティング

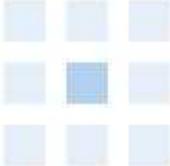
東京農工大学における クラウドゲートウェイサービス

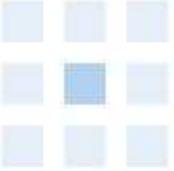
— 未活用事例 —

2018年6月21日

東京農工大学 総合情報メディアセンター

瀬川 大勝

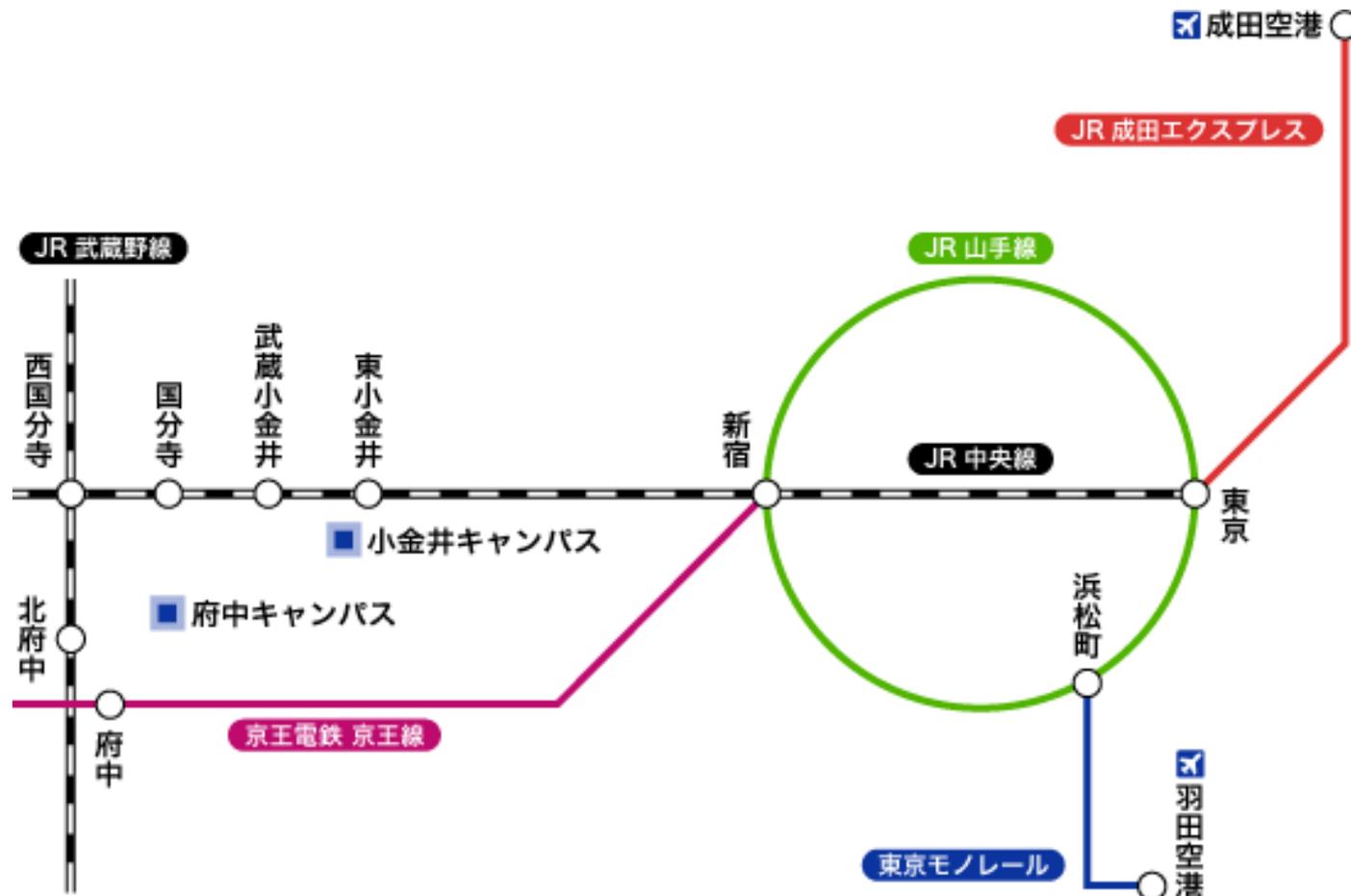


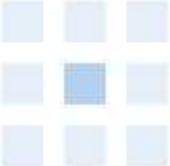


はじめに

1. 東京農工大学(農工大)の概要
2. 東京農工大におけるクラウドゲートウェイサービス
 - I. 現状,問題点(未活用・未周知)
 - II. 原因分析
3. おわりに(まとめ…?)

東京農工大学の概要(地理)



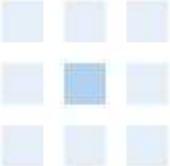


東京農工大学の概要(構成)

- 2学部(農・工)+大学院(学府・研究科)
- 学生数: 約6000人
- 教職員数: 約1700人

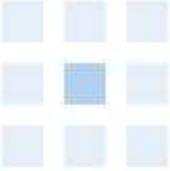
サービス参加の経緯

- オープンフォーラム2017:「大学とクラウドサービスをつなぐクラウドゲートウェイ」(NII 西村氏)
 - 問題点1: 学認参加サービス全てが利用できるとわけではない
 - …「使えると思ってアクセスしたら,使えない」
 - 問題点2: 学術機関側の問題点
 - … ガバナンス,非効率なポータル作成,など
- → 確かに! (2017年8月参加申請)



東京農工大の現状

- しかし, …
 - 現在に至るまで, 活用されていない
 - (学認)ポータルサイトとして, 周知もしていない
- 知る人ぞ知るサービス?



未活用・未周知の理由(原因)

- 運用担当者(筆者)の無知・誤解
… マニュアルはきちんと読みましょう
- 電子ジャーナル(図書館担当)SPとの兼ね合い
- 競合サービスとの兼ね合い
- 運用(維持・管理)コスト

運用担当者(筆者)の無知・誤解

- 管理者用 SP (学認申請システムなど) が表示されている
- 機関 (IdP) グループ:
IdPを元に自動生成したグループです。同一のIdPを持つユーザがシステムにアクセスがあると、自動的にこのグループのメンバーになることができます。
→ 色々と面倒なことが起きるかも…?
(※ きちんと設定すれば, 大丈夫なはずです。)

電子ジャーナル等(図書館担当)との 兼ね合い

- 電子ジャーナルの契約形態
 - 物理的に学内からのアクセスのみ許可
 - 学外ネットワークからのアクセスも許可
学認 and/or VPN
- 利用者にとっては,読みたいものが読めればよい
 - 各自が利用するジャーナルは特定のもの
 - アクセス形態にこだわりはない(学認・VPN)

本学図書館の案内ページ(1)



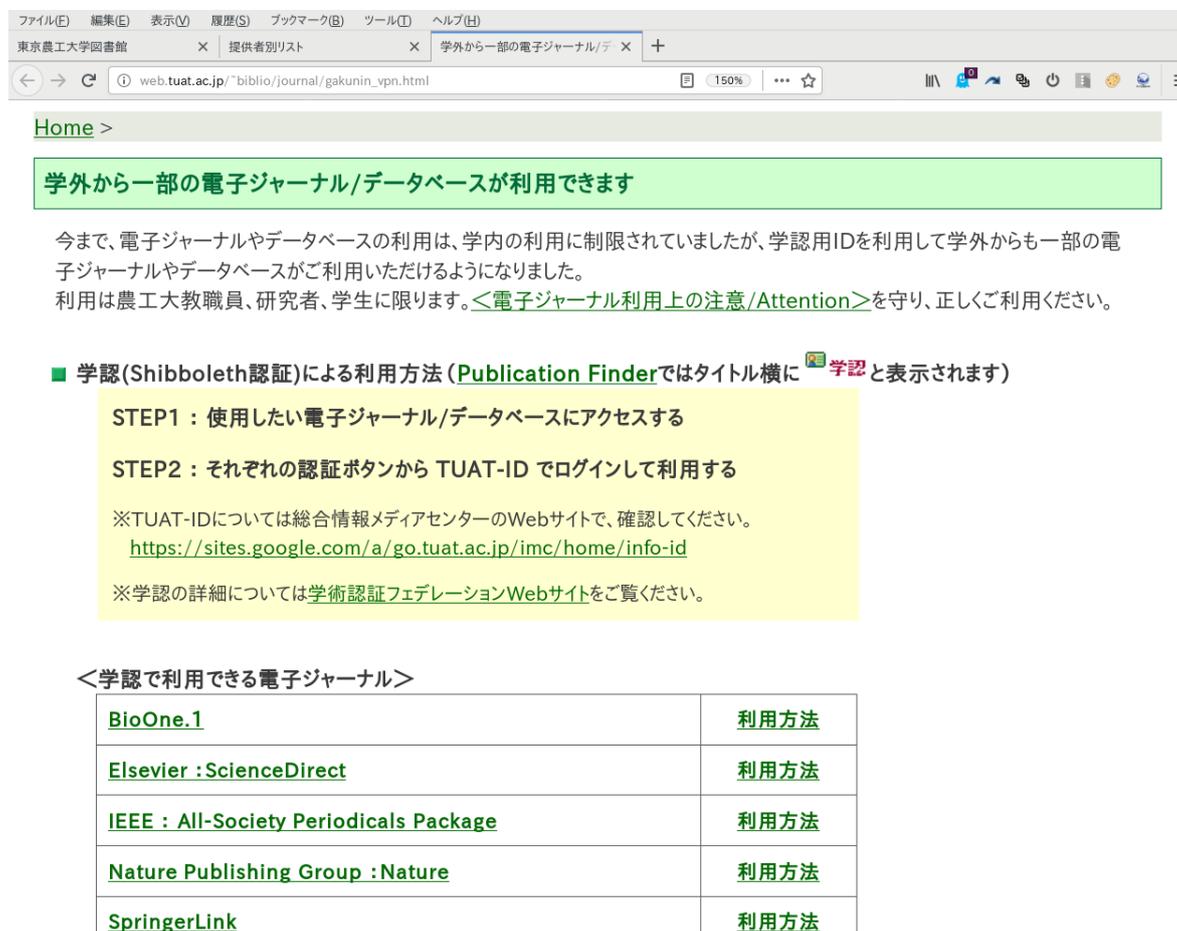
Home > 提供者別リスト

提供者別リスト

-  学認 = 学認利用可、 VPN = VPN接続での利用可
- 学外からの利用方法については[こちら](#)をご覧ください。
- 電子ジャーナルの利用について、[電子ジャーナル利用上の注意/Attention](#) を遵守してください。

提供者	学外から利用	備考
ACM Digital Library		米国コンピュータ学会(ACM)提供のオンラインタイトルによって、利用可能な期間が異なります。
BioOne.1	 	北米の学術出版連合 SPARC が提供する、サービスです。 生物科学系ジャーナルを独自に収集、提供しています。
IEEE All-Society Periodicals Package (IEEE)	 	米国電気電子工学会(IEEE)で提供されています。 利用できます。
IEICE (電子情報通信学会)		電子情報通信学会論文誌の和文誌・英文誌

本学図書館の案内ページ(2)



Home >

学外から一部の電子ジャーナル/データベースが利用できます

今まで、電子ジャーナルやデータベースの利用は、学内の利用に制限されていましたが、学認用IDを利用して学外からも一部の電子ジャーナルやデータベースがご利用いただけるようになりました。
利用は農工大教職員、研究者、学生に限ります。<電子ジャーナル利用上の注意/Attention>を守り、正しくご利用ください。

■ 学認(Shibboleth認証)による利用方法 (Publication Finderではタイトル横に  学認 と表示されます)

STEP1 : 使用したい電子ジャーナル/データベースにアクセスする

STEP2 : それぞれの認証ボタンから TUAT-ID でログインして利用する

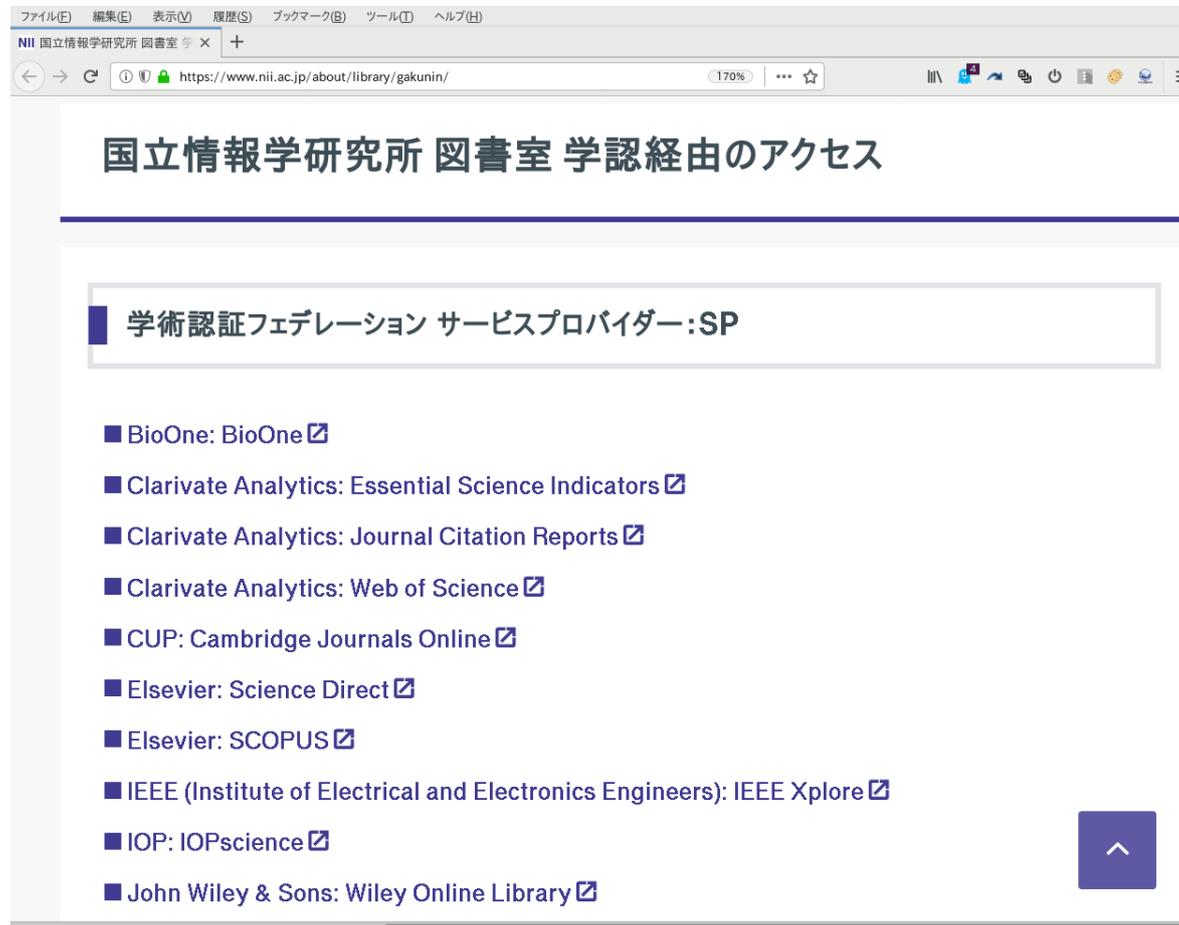
※TUAT-IDについては総合情報メディアセンターのWebサイトで、確認してください。
<https://sites.google.com/a/go.tuat.ac.jp/imc/home/info-id>

※学認の詳細については学術認証フェデレーションWebサイトをご覧ください。

<学認で利用できる電子ジャーナル>

BioOne.1	利用方法
Elsevier : ScienceDirect	利用方法
IEEE : All-Society Periodicals Package	利用方法
Nature Publishing Group : Nature	利用方法
SpringerLink	利用方法

蛇足: 少し安心したこと

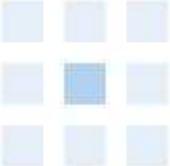


<https://www.nii.ac.jp/about/library/gakunin/>

競合サービスとの兼ね合い(1)

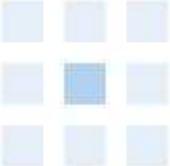
- 大きなファイルを送りたい・共有したい
 - NII FileSender (学認 SP)
 - 大学で契約 (G Suite for Education)
Googleドライブ, チームドライブ
 - 教育・研究システム調達で導入
大容量ファイル共有サービス (TUAT Cabinet)

...



競合サービスとの兼ね合い(2)

- 多様性があるのは良いこと(筆者の個人的感想)
- ユーザは戸惑う(現実)
 - あくまで教育・研究のためのツール
 - 使いたいものが使えれば良い
 - 使い慣れたものが一番?

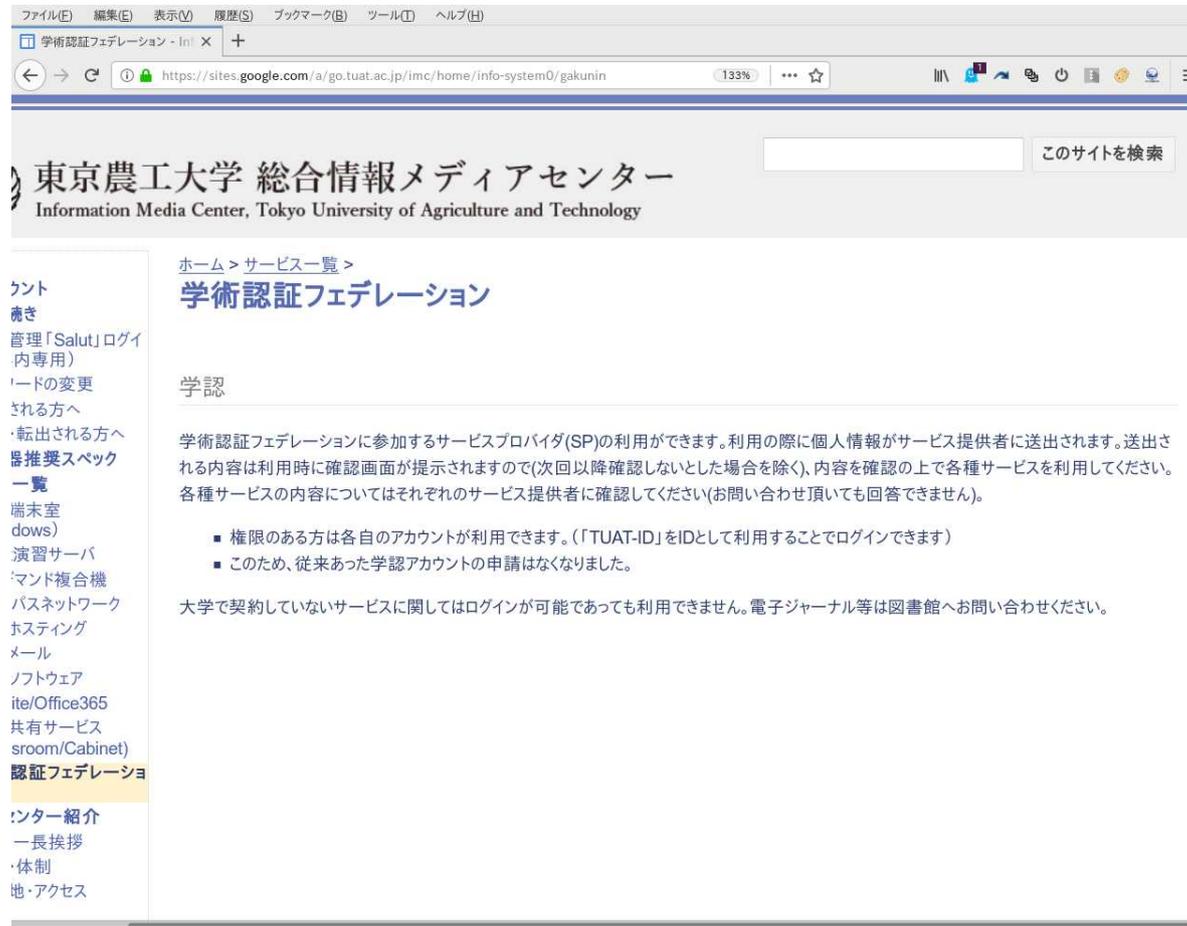


運用コスト

- 管理者・運用者としての心配
 - サービスの継続性
 - 変化(進化)するサービス
 - マニュアル類の整備や周知のコスト

結果…

(当センター学認紹介ページ)



東京農工大学 総合情報メディアセンター
Information Media Center, Tokyo University of Agriculture and Technology

ホーム > サービス一覧 >
学術認証フェデレーション

学認

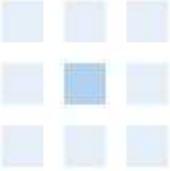
学術認証フェデレーションに参加するサービスプロバイダ(SP)の利用ができます。利用の際に個人情報がサービス提供者に送出されます。送出される内容は利用時に確認画面が提示されますので(次回以降確認しないとした場合を除く)、内容を確認の上で各種サービスを利用してください。各種サービスの内容についてはそれぞれのサービス提供者に確認してください(お問い合わせ頂いても回答できません)。

- 権限のある方は各自のアカウントが利用できます。(「TUAT-ID」をIDとして利用することでログインできます)
- このため、従来あった学認アカウントの申請はなくなりました。

大学で契約していないサービスに関してはログインが可能であっても利用できません。電子ジャーナル等は図書館へお問い合わせください。

アカウント
おき
管理「Salut」ログイン専用)
ードの変更
される方へ
・転出される方へ
器推奨スペック
一覧
端末室
dows)
演習サーバ
・マンド複合機
バスネットワーク
ホスティング
メール
ソフトウェア
ite/Office365
共有サービス
sroom/Cabinet)
認証フェデレーショ
ンター紹介
一長挨拶
・体制
地・アクセス

大学で契約していないサービスに関してはログインが可能であっても利用できません。
電子ジャーナル等は図書館へお問い合わせください。



おわりに

- 本学では未だ未活用
 - 運用担当者(筆者)の無知・誤解
→ 頑張れば解決可能?
 - 電子ジャーナル(図書館担当)SPとの兼ね合い
 - 競合サービスとの兼ね合い
 - 運用コスト(継続性, ... as a service)
→ 模索中...